

議会だより おかがき

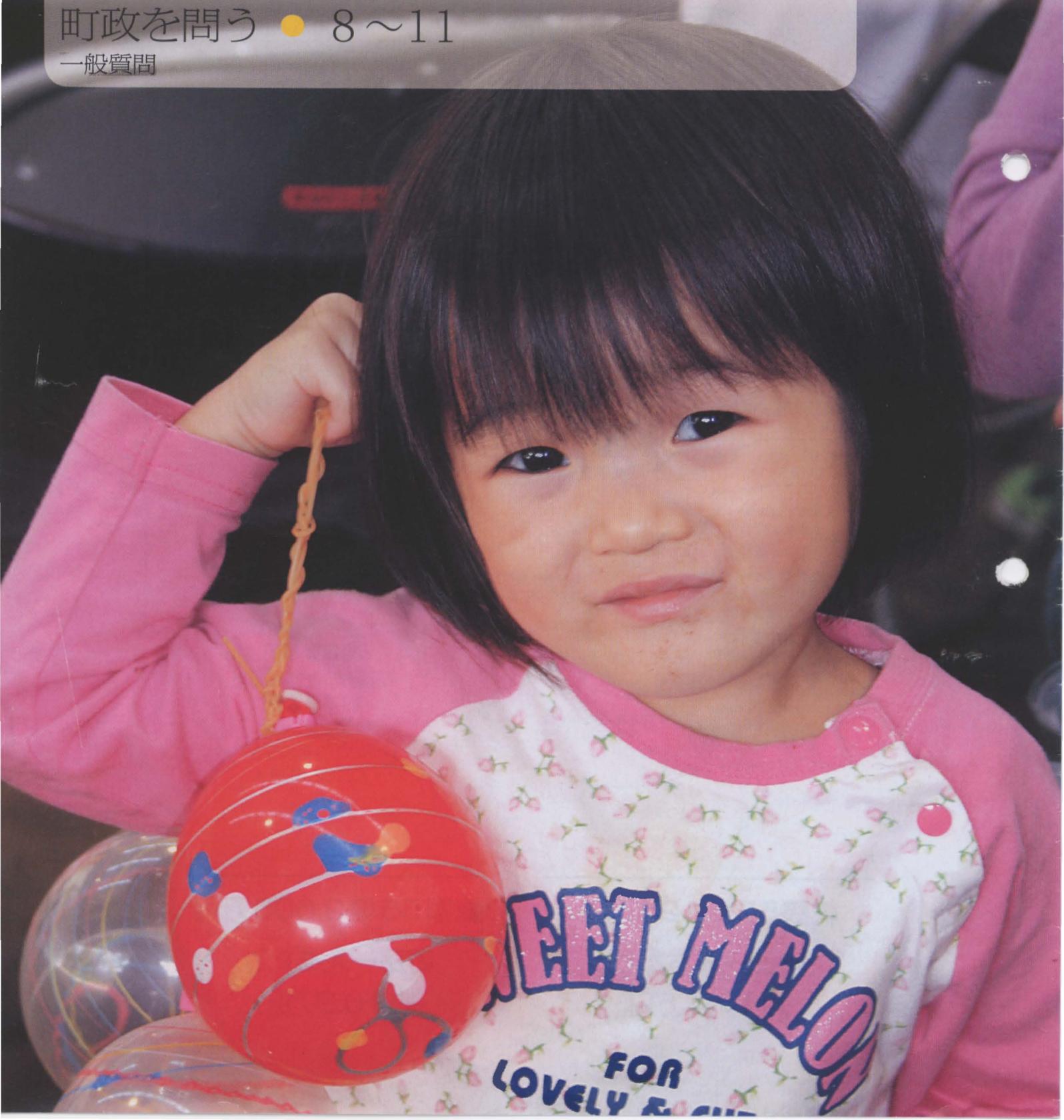
No.86 9月定例会 平成23年11月10日発行

慎重審議・チェックを経て認定！ ● 2～3

平成22年度 一般会計・各特別会計決算

町政を問う ● 8～11

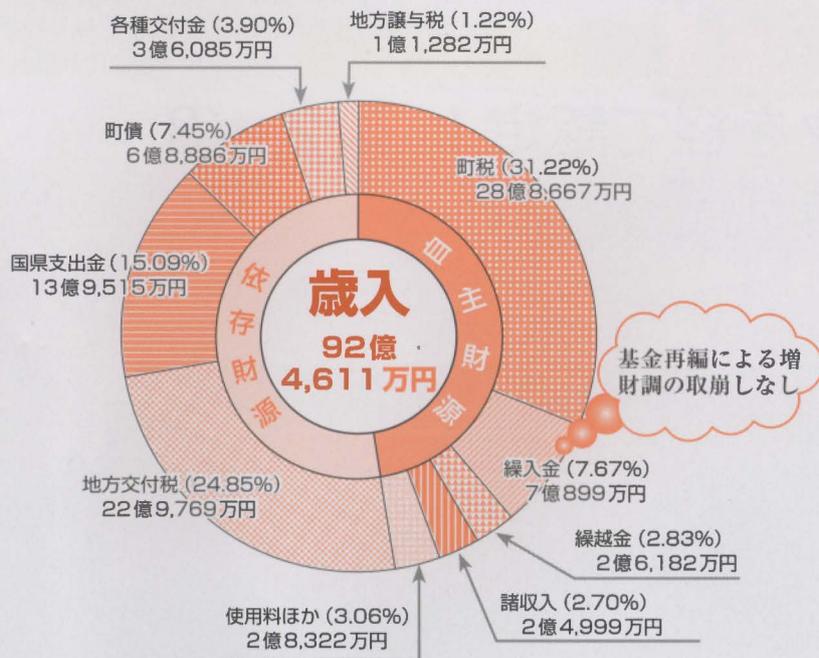
一般質問



【一般会計決算の内訳】

定例会 **9月** 概要版

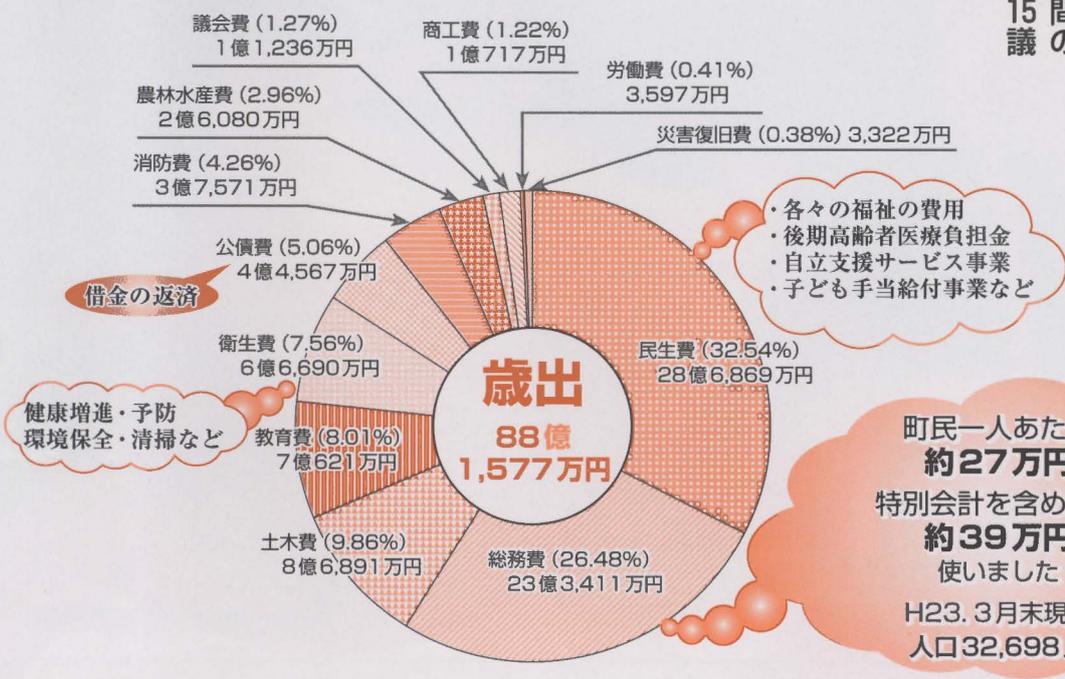
歳入(財源)



第3回定例会は9月9日から9月26日までの18日間の日程で開催され、平成22年度一般会計決算を含む15議案の審議を行いました。

平成22年度一般会計・各特別会計決算
慎重審議・チェックを経て認定!

歳出(使いみち)



町民一人あたり
約27万円
 特別会計を含めると
約39万円
 使いました
 H23.3月末現在
 人口32,698人

まちの借金(地方債)

総額57億124万円

町民一人あたり
 約17.4万円

まちの貯金(基金)

総額55億3,605万円

町民一人あたり
 約16.9万円

平成22年度岡垣町各会計決算概要

(単位:円)

	収入額	支出額	差引額
一般会計	9,246,114,555	8,815,776,788	430,337,767
国民健康保険会計	3,726,529,718	3,583,742,774	142,786,944
老人保健会計	1,709,565	1,709,565	0
後期高齢者医療保険会計	452,926,524	446,580,865	6,345,659
住宅新築資金等貸付会計	2,154,031	1,086,382	1,067,649
水道事業会計	509,314,203	484,164,809	公営企業会計のため表示できません
下水道事業会計	778,418,548	718,052,987	

財政健全化判断比率

指標	H22年度	早期健全化基準	財政再生基準	説明
実質赤字比率	—	14.42	20.0	財政は黒字なので、数値なし
連結実質赤字比率	—	19.42	35.0	財政は黒字なので、数値なし
実質公債費比率	5.8	25.0	35.0	町の収入に対する借金(地方債)返済の割合。18%を越すと借金が許可制になる
将来負担比率	0.7	350.0	基準なし	町が将来返済しなければいけない負債の割合

審査意見書より

昨年につづき財政調整基金からの繰り入れを行わずに収支の均衡が図られた。一方で、地方交付税をはじめとする依存財源の収入状況により収支が大きく左右される状況にあるため、自主財源の確保を図るとともに、経常的経費のさらなる圧縮を進める必要がある。

決算議会審議状況

議員より下記のこと等の質疑を行いました。

○ 総務

- ・文書管理(公共施設設計図書)のあり方
- ・区長事務委託業務の増加とその対策
- ・税の滞納処分あり方
- ・町有財産(町有林)の有効活用
- ・基金の有価証券管理
- ・芦屋競艇収入財源の活用
- ・事故繰越の事業の活用
- ・避難場所老朽化に伴う建替計画
- ・岡垣交番の移設計画
- ・人材育成事業の成果と課題

○ 商工

- ・中心市街地活性化基本計画のその後の動向
- ・プレミアム商品券
- ・国際交流事業

○ 民生

- ・学童保育
- ・届出保育所の状況
- ・老人憩いの家の運営状況と今後の運営
- ・短期医療証の交付のあり方
- ・国民健康保険財政の見直し
- ・健康増進計画の推進

○ ライフライン

- ・上水道の水源確保
- ・老朽管の改修と有収率
- ・給水区域の拡大と未給水区域対策
- ・旧金比羅山配水池の処分の考え方
- ・公共下水道の水洗化率
- ・下水道財源の地方債の償還ピーク時と償還額
- ・汚水処理構想の見直しの内容
- ・今後の下水道整備計画区域

平成22年度決算認定のほかに 提出された主な議案・報告

平成23年度補正予算(第2号)

一般会計補正予算

8712万8千円を増額

総額86億4212万8千円に

主な使いみち

- 災害時要援護者支援システム導入委託料
503万円
- 社会福祉協議会補助金
(すぱーく岡垣施設改修)
500万円
- 農業用水路等改良工事費
1298万円
- 商工会補助金(プレミアム商品券)
700万円
- 道路維持・道路改良費
1584万円
- 消防団員等公務災害保障組合負担金
2555万円
- ふれあいスポーツ広場施設整備工事
155万円

条例の改正

- 岡垣町税条例の一部を改正する条例
- 岡垣町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- 岡垣町下水道条例の一部を改正する条例

人事

- 岡垣町固定資産評価審査委員会委員
岩崎 喜久子さん(東松原)
- 岡垣町教育委員会委員
森田 英明さん(公園通り西)

報告

- 財団法人岡垣サンリーアイ管理公社
決算報告
- 専決処分報告

全員協議会

- 岡垣町小型浄化槽設置整備事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱

(目的)

現行の制度では、下水道を接続するときと、浄化槽を設置するときの個別負担に格差が生じている。今回の改正でその格差を是正し、浄化槽設置の拡大を図る。

- 岡垣町における大規模な災害時の応援に関する協定の締結

(目的)

国土交通省所管施設に大規模な災害が発生し、又は発生する恐れがある場合の応援に関する内容を定め、もって被害の拡大を防ぎ、及び二次災害を防止すること。

岡垣町税条例等の一部を 改正する条例

反対

平山 弘 議員

上場株式等の配当と譲渡所得に対する軽減税率の2年間延長は、法人税5%減税と合わせて、高額所得者向けの優遇税制であり反対である。

政府の「復興増税法」でも法人税の5%減税はそのまま、その一部を増税するという中身で、実質2%減税で、3年経ったら5%減税になるものである。

一方所得税は臨時といながら5年から10年間の増税計画である。そのような中、大企業は1円の負担増もなく、サラリーマンや自営業者に増税を求めるのは逆さまな税制である。負担を分かち合うというなら、大企業、大資産家の応分の負担が求められなければならない。

賛成

下川路 勲 議員

私たちの生活の中で身近な寄付は、寄進やお布施などと称されてきたが、最近では公共、公益団体を支援するため、寄付金控除制度が創設されている。このたびの条例の改正は、本制度を幅広く充実にさせ非営利法人の活動を支援することを目的としたものである。諸外国では、寄付金制度は幅広く浸透しており、この文化に近づくために控除額を変更し、より多くの公益・公共団体の活動を支援するための寄付金制度の拡充を目的としていることから、その主旨に賛成する。

広渡 輝男 議員

岡垣町税条例の改正は、現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に呼応して税制の整備を図るための地方税法等の改正に伴うものである。改正目的は、住民の福祉の増進に寄与する「NPO法人」を支援するため、寄付金控除額を5千円から2千円に引き下げるものである。また、免税対象所得の見直しと適用期限の延長、特定の所得の軽減税率の延長などは、町民の税負担の軽減につながるから賛成である。一方では、地方税などの罰則が大幅に強化される。本制度の改正は町民生活に大きく影響するため、きめ細やかな説明責任を果される事を求める。



マル・マル・モリ・モリ♪



ホールインワン!?



平成22年度 岡垣町一般会計 歳入歳出決算認定について

反対

西田 陽子 議員

景気が回復する兆しがないまま、22年度も町税は6600万円の減収である。が、黒字決算となっている。しかし、6億2千万円の臨時財政対策債は借金である。具体的な事業は評価すべき点多々ある。しかし、成果報告書は自画自賛の部分が多く、第三者を入れてもっと客観的になされるべきである。また、岡垣町の財政状況が一目でわかるような「町の家計簿」とも言うべき情報を早急に提供してほしい。そうすれば、多くの意見や知恵が集まり、住民参画でよりよい評価ができる。被災地の職員に学び、岡垣町の職員も住民サービスの更なるスキルの向上を期待する。

平山 弘 議員

黒字決算の中から昨年の5千万円に引き続き、1億3千万円を財政調整基金に繰り入れた。

黒字決算は一面いいことであるが、町の「構造改革、選択と集中」という、民間企業の経営戦略の手法による調整には賛成できない。

町の雇用対策、学校耐震化事業、子育て支援などは評価するが、住民要求や要望が一定、抑制・押さえ込まれて、負担が増えている。

例えば、老人憩いの家の利用者が入浴料が1000円になって激減している。設置目的の老人福祉の向上からして本末転倒である。

賛成

太田 強 議員

景気の低迷が続く中、自主財源である町税なども年々減少し、依存財源である交付税などに頼らざるを得ない中、宮内町長の施政方針であった「元氣なまち岡垣」を実施するためにきめ細かな施策が実施されていると判断する。

実質収支3億6千万円の中から1億3千万円の基金繰入れも出来た。

特に評価すべき点は、事務事業や施設管理のあり方について意見を聞くため「外部評価」の実施です。いろんな部門、いろんな課でその責任者を始め職員の意識改革が生れつつある。また町民も町のいろんな事業に目を向けた。今後も変化に対応出来る意識改革の進展が期待出来る。



元気ハツラツ岡垣っ子

下川路 勲 議員

自主財源の確保に努めなければならぬが、前年度と比較すると、自主財源比率は4・3ポイント上回って47・5パーセントとなり、他の類似団体と比較しても、安定財政となっており、実質収支3億6千万円の黒字決算を評価し、賛成とする。

神崎

ふるさと自然を大切に

町長

次世代へ良好な状態で引き継ぐ



神崎 宣昭 議員

○岡垣町の自然保護・保全計画について

神崎 清らかな美味しい水と掛け替えのない、古里岡垣の素晴らしい大自然を、きちんと後世に譲り渡してゆくことが、現代を生きる私達の責務だと信じています。

岡垣町の自然保護、荒廃林の整備と、森林の有効活用の方策をお尋ねします。

町長 町の豊かな自然環境を維持・保全していくことは、第5次総合計画の重点プロジェクトとして位置づけ、次世代へ良好な状態で引き継ぐ為、住民の理解を深め、荒廃等を防ぎ守る取り組みを進めることとしています。

神崎 自然環境の維持・保全を重点プロジェクトとして位置づけている割りには、予算が少ないのではないですか。

23年度予算の自然環境保全には、2440万円で、一般会計予算の0.28%しか組み込まれていません、このことをどのように、考えていますか。

町長 自然環境保護の予算は、森林だけでなく、生活排水を処理する下水道、ごみ処理関係等、多額の予算が組まれています。

○文化財資料の保存と展示施設の整備について

神崎 文化財資料の保存等は現在どのようにされ、また展示施設について



大原神社の大銀杏

示施設については、今後どのように計画されていますか。

町長 第5次総合計画では、「自然環境、歴史文化の保全・伝承プロジェクト」の取り組みとして、文化財の保存及び

展示施設の整備を掲げています。分散保存してきた文化財の集約化や効果的・効率的な維持管理、町民が気軽に親しむことができる展示のあり方などを十分に検証します。

下川路

災害に強いまちづくりとは

町長

防災訓練などを継続的に取り組む



下川路 勲 議員

下川路 災害に強いまちづくりの方策をお尋ねします。

町長 東日本大震災を教訓として、今後の防災対策に活かして、地域防災計画の見直しを行うとともに、防災意識の高揚に向けた防災訓練などを継続的に取り組んでいきます。

下川路 自主防災組織の現状はいかがですか。

町長 町内の自治区54区中、23区で組織されています。

下川路 組織化に当たって、担当課の職員が各自治区へ説明に回っていると思います。

推進を図る為にも、私達議員も同行すべきと思いますが。

町長 特に議員の役割が大切だと思いますので、力強い応援の言葉だと感謝します。

下川路 緊急防災無線が全町の整備されましたが、他の区の放送と混乱して聞き辛いケースや、全く聞こえない地域もあるとのこと。それらの改善策はどうなっているのですか。

町長 他の地域の声と重なって聞き辛い所があることは把握しており、言葉を短く切っ



みんなで防犯・防災

て放送するなど工夫はしています。聞こえない地域の改善を含めて調査を行う予定です。

下川路 避難場所と、その表示について、お尋ねします。

町長 町内の避難場所は、現在14カ所設けています。夜間でも見えるように、ソーラーパネルの避難場所表示板の設置を計画的に進めています。

下川路 大震災を機会に、町民の皆様の防災意識を高めると共に、効果的に防災に関する知識を身につけるために、ゲーム形式で、防災力に取り組み運動会を計画してはどうですか。

町長 要望があれば、安全面を考慮して、実施を検討する必要があると思っています。

横山

子どもの医療費無料制度の拡大を

町長

入院時の自己負担無料化を 中学3年生まで拡大



横山 貴子 議員

横山 現行の岡垣町における乳幼児医療費支給制度は、入院、通院ともに、小学校就学前まで自己負担なしとなっており、保護者の方より大変喜ばれています。病氣、怪我は突然おこるものです。経済面で心配することなく、病院に連れて行ける環境は、子育て家庭にとっても大きな安心です。現行の制度を小学校6年生まで拡充する考えはありますか。

町長 私の基本的な考え方は、このような社会保障制度は、国の責任で制度設計され、全国で同様のサービスが受けられるようにすべきと考えます。

この制度については、平成20年度に子育てを支援するために、就学前まで医療費を無料化するよう岡垣町独自で制度拡大してきました。制度見直しにあたっては厳しい財政状況ですが、来年4月より、個人負担が高額となる入院時の自己負担について、中学3年生まで拡大し、無料化できるように検討を進めます。

○安心、安全のまちづくりについて

横山 現在、公園に設置してある和式トイレに、「誰もが



ずっと仲良し

使いやすく安全に」を、考えるとき補助手すりを設置できないでしょうか。

町長 高齢者などの利用される皆さんが使いやすい環境になるよう、手すりの設置を進

めてまいります。

※その他の質問

・空き家対策から安全で便利な街づくりについて

・学校における防災教育について

広渡

駅南開発と道路事業の効果は

町長

駅南側の開発を促進する



広渡 輝男 議員

して、駅南から海老津駅が利用できるように「海老津白谷線」等の整備を最優先することが、駅南側の宅地開発等の早期実現化に繋がられると考えています。

広渡 海老津白谷線（駅南側広場を含む）の道路事業は、岡垣町の公共事業で過去最大の住宅16戸の移転を伴う大規模事業で、全体事業費21億5千万円とわれています。

本事業の費用対効果をどのように分析されているかお尋ねします。

町長 駅南側の道路等の整備による緊急車両の迅速化、交通渋滞の緩和、南北アクセス



町の玄関口 JR海老津駅

の確保、また駅南の開発促進などの効果が見込まれます。

広渡 海老津白谷線の平成23年度予算と社会資本整備交付金の動向をお尋ねします。

町長 当初は社会資本整備交付金1億7600万円を要望していましたが、国の厳しい状況の中、削減され9500万円となっています。

広渡 国の財政見通しが厳しい中、海老津白谷線の全体計画の見直しが必要ではないか。

町長 社会資本整備交付金を国に要望しながら、当初の計画どおりに平成27年度完成を目指します。

※コミュニティバスの拡充とデマンド交通システムの導入を求めました。

平山

小学6年生まで子どもの医療費を無料化に出来ないか

町長

入院時の医療費を中学3年生まで無料化する



平山 弘 議員

平山 子どもを育てる親にとって、一番の心配は子どもの病気です。内閣府の調査では、7割の女性が「重要と考える子育て支援策」として「経済的支援」をあげ、「望ましい支援内容」のトップに「医療費の無料化」をあげています。小学6年生まで子どもの医療費を無料化に出来ないか。

町長 厳しい財政状況にありますが、子どもたちの元氣な成長を支援していくため、個人負担が高額となる入院時の自己負担について、対象年齢を現行の就学前から、義務教育期間の中学3年生までに拡大し、来年4月から無料化していく予定です。



健やかに大きくなあ〜れ

平山 学校は児童・生徒が知・徳・体を学び人格を形成する大切なところでもあります。安全、安心のもとでの教育施設でなければなりません。また、災害時の避難施設でもあります。

平成24年度以降の耐震化計画について、どう考えておられますか。

町長 国の動向を踏まえ、耐

震診断は前倒しで行う必要があると判断し、平成24年度に未実施の校舎と体育館についてはすべて耐震診断を実施します。

診断結果で優先順位をつけて、27年度までにできるだけ

早く、耐震化工事を実施していきます。

さらに内浦小学校体育館については、雨漏りの件もあり、耐震診断等がさらに早く実施できないかを現在調整しています。

西田

防災に女性の参画を

町長

女性の意見を活かします



西田 陽子 議員

西田 災害時の住民の危機意識を高めるために、地域の危険箇所を住民が歩いて把握し手作り防災マップを作る取り組みをどうですか。

町長 災害等について、居住している地域の状況を知ることが重要なことであり、啓発を行っています。

西田 500万円の補正予算を計上していますが、災害時

における要援護者支援の取り組みは進んでいますか。

町長 民生委員さんからの情報をもとに対象者の絞込みを行っています。

西田 東日本の避難所で、女性が着替えやトイレや授乳にも苦勞し、DV等も報告されており、南三陸町の女性の副区長さんの働きが評価されています。岡垣町の防災会議委員16人中女性はゼロです。女性を登用する考えは。

町長 様々な面で女性の参画を常に考えています。組織にはそれぞれの目的があり、男女を問わずその組織の目的に



地域の「絆」防災訓練

沿う人材であれば検討したいと考えています。

西田 障害福祉計画の見直しがなされていますが、サービスが周知されておらず、情報提供のあり方を検討しては。

町長 その都度丁寧に説明しており、毎年パンフレットも全戸配布しています。

西田 当事者の意見が反映されるよう、相談窓口の充実等地域自立支援協議会を立ち上げ、実働させるべきでは。

町長 現在、毎月の連絡調整会議や随時のケース会議を開催しており、今回の計画見直しの中で必要性を検討します。

西

ごみの減量化・再資源化について

町長

地域や町民のみなさんと協力しながら進めていきます



西 美千代 議員

西 ごみの減量化、再資源化に向けての展開方針について、町は具体的にどのような計画をされていますか。

町長 ごみ処理に関する負担額は年間約3億7千万円でごみの減量化、再資源化は大きな課題です。そのための啓発活動や、資源物回収補助制度などで、継続した支援を行っています。

西 現在廃油の回収は学期末ごとに学校で回収されていますが、その活用方法は？

教育長 給食の廃油も含めて年間約2350ℓが回収され、70%が業者によりインク等に、残り30%が石けんに、リサイクルされています。

作った石けんはイベントなどで無料配布しています。

西 廃油は燃えるごみに出している人が多くいます。学校での回収に加え、公共の施設に回収BOXを設置し、常時持ち込めるようにするとごみの減量につながるのではないのでしょうか。

町長 次年度からの設置に向けて取り組んでいきます。

西 犬のふん害やポイ捨てなどは、地域のコミュニティで見回りや美化活動をされていますか。



地域で環境パトロール

ていますが、苦情は絶えませんが。条例の周知と罰則規定を加えて欲しい。

町長 ふん害については罰則規定を加えるより愛犬家の、マナーの徹底が一番です。一層の啓発を続けていきます。

とは素直に受け入れることができ、学校で学んだ事は親にも伝わるので、ぜひ学校のなかで啓発活動に取り組んでいただきたいと思います。

教育長 今後もいろんな場面で、引き続き取り組んでいきます。

小野

小・中学校施設の耐震化・施設改善は

町長

町の重点施策であり年次計画で実施



小野 元次 議員

小野 第五次総合計画では、「小・中学校施設については、計画的な耐震化、施設改善を進め、安全で快適な学校教育の出来る環境をつくります」と、掲げられていますか、耐震化や施設改善は、どのような計画をされていますか？

町長 安心して快適に学習が出来る教育環境づくりを推進

するため、耐震診断に基づき、耐震化補強工事を行い、また老朽化等により改修が必要な施設や備品等についても整備を行います。平成24年度は、岡垣東中の校舎、吉木小・戸切小・山田小・岡垣中の各体育館の耐震診断を計画しています。また、内浦小体育館は、耐震診断及び屋根改善の実施が出来るよう調整を行います。

小野 老朽化した学校施設の対応策は？

町長 学校施設の耐用年数は、国の基準で60年となって



戸切小耐震化工事

います。学校施設は児童生徒が学習等で一日を過ごす場であり、災害時の避難場所にも指定されています。老朽化施設の対策は、学校施設を含めた町内公共施設の長寿命化計画の策定の中で、具体的な考え方や方向性を出します。

小野 大規模改善や施設備品改修を年次のなローリング計画で実施するの？

教育長 小・中学校の耐震化事業は、町の重点施策であり、年次計画に基づき実施しています。来年度は、岡垣中の校舎屋上防水工事と廊下床張替え工事、吉木小の耐震補強工事と老朽化したトイレ改修工事を計画しています。

委員会視察研修レポート

議会運営委員会

8月17～19日

埼玉県三芳町

東京都瑞穂町

議会運営委員会では、「住民懇談会の運営」「議会基本条例について」をテーマに、議長および議会運営委員の計7名で視察研修を行いました。10月8日、9日に開催した「議会住民懇談会」ではさっそく、この視察研修で得たものを活用させていただきました。岡垣町議会は、今後も町民の皆様により身近な議会を目指し邁進していきます。



議会広報特別委員会

8月9～10日

広島県海田町

北広島町

町民の皆様にも「みえる議会」への取り組みを調査研究するため、広報特別委員6名全員で視察研修を行いました。具体的には「議会広報」の編集目的・方向性について、また、「議会ライブ中継」の取り組みを学びました。今後の「議会」において、成果を発揮していきます。



議会の動き

(議会、常任委員会、協議会等)

6月定例会終了後の議会の本会議・常任委員・協議会等について紹介します。

日時	委員会等	議 題
6月20日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
6月24日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
7月 4日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
7月11日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
7月13日	文教厚生	教育問題について(学校視察)
7月14日	議会運営	議長からの諮問について(岡垣町議会住民懇談会について)
7月21日	研修会	人権研修
7月26日	文教厚生	教育問題について(学校視察のまとめ)
7月28日	総務産業	防災対策について
8月12日	議会運営	議長からの諮問について(住民懇談会・パソコン持ち込み)
8月23日	文教厚生	視察先決定・パソコン持ち込み
8月30日	議会運営	第3回定例会
9月 9日	本会議	議案上程
9月 9日	議会広報	議会だよりおかがき編集
9月12日	本会議	一般質問
9月13日	本会議	一般質問
9月14日	文教厚生	学校視察・行政視察協議
9月14日	総務産業	付託案件・行政視察協議
9月15日	全員協議会	小型浄化槽設置補助金・災害応援協定
9月15日	議会運営	追加議案
9月16日	連合審査会	付託議案
9月20日	連合審査会	付託議案
9月21日	連合審査会	付託議案
9月21日	議会運営	追加議案
9月26日	本会議	議案上程・最終日
9月26日	総務産業	付託議案(現地視察)
9月26日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
9月30日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
10月3日	議会広報	議会だよりおかがきの編集
10月4日	全員協議会	岡垣町議会住民懇談会について
10月8日	懇談会	岡垣町議会住民懇談会(西部公民館)
10月9日	懇談会	岡垣町議会住民懇談会(中央・東部公民館)

総務産業常任委員会



9/26 町道元松原源十郎線歩道の現地視察

文教厚生常任委員会



9/14 各小学校耐震化の視察(海老津小体育館工事)

議会住民懇談会の報告

4年目となった議会住民懇談会、今年は3会場を13名の全議員で企画・運営を行いました。第1部では9月定例会の内容の報告と質疑応答、第2部では町政全般について意見交換を行いました。10月8日・9日の2日間で126名の方にご来場いただき、まちづくりにかかわる貴重なご意見やご指摘をいただき誠にありがとうございました。議会並びに町政に関するご意見・ご要望等については、真摯に受止め、岡垣町議会として積極的に行動してまいります。



10月8日18:30~

第1会場：西部公民館

○主な意見・要望

- ・財源確保並びに発展性から企業誘致推進
- ・西部地区の再開発の促進
- ・西部地域の発展へ向けた取り組みの推進
- ・町の文化遺産の保存と管理施設の充実

10月9日13:30~

第2会場：中央公民館

○主な意見・要望

- ・町民の健康増進を促進するため公民館の使用料の軽減
- ・高齢化に伴う医療費の動向予測
- ・町の歴史資料館の必要性（歴史に学ぶ）
- ・駅南開発と海老津・白谷線の促進





10月9日18:30~
第3会場：東部公民館

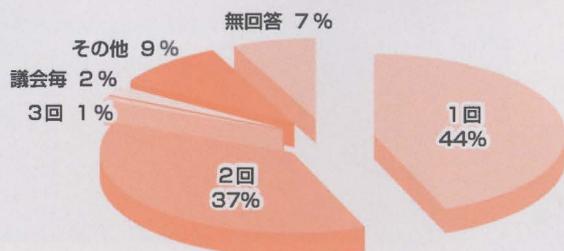
○主な意見・要望

- ・文化財・歴史資料の保存施設の確保
- ・大原神社の銀杏の木の保存
- ・国の厳しい財政状況と岡垣町に及ぼす財政動向について
- ・下水道の今後の整備計画について
- ・いこいの里の浴場施設存続について

アンケートの結果報告

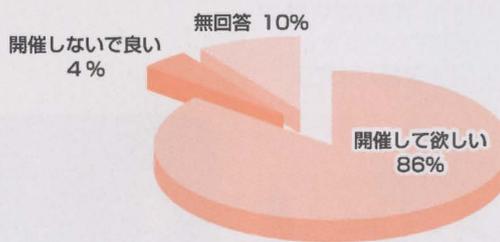
参加していただいた126名の内94名の方からアンケートの回答をいただきました。アンケート結果の主な内容をご紹介しますとともに、今後の住民懇談会のあり方や議会活動の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

開催回数について



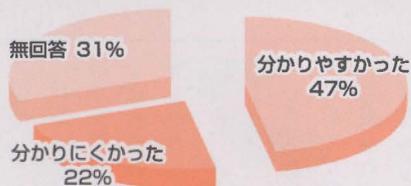
開催回数に合わせて開催場所をお尋ねしたところ、無回答を除き約90%の方が西部・中央・東部公民館との回答でした。

開催の可否について



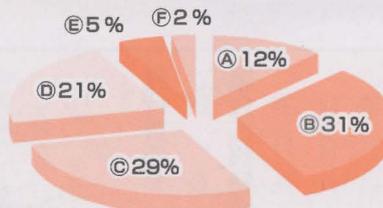
開催についてお尋ねすると、無回答を除いても86%の方が、住民懇談会の開催を積極的に求められています。

内容



議会報告などの内容については、47%の方が分かりやすかったという反面、22%の方が分かりにくかったというご意見でした。またその意見の中では、説明資料や内容によるものほか、説明のあり方などの指摘がありました。

開催のご意見



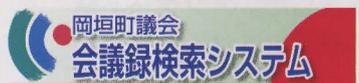
- ① 議会議員を身近に感じる
- ② 議員と住民との意見交換の場が重要
- ③ 議会の活動状況や考え方、姿勢が分かる
- ④ 町の近況・現況が分かる
- ⑤ 議会広報より分かりやすい
- ⑥ 議員一人一人の取り組みの姿勢が見える

まつり岡垣開催!!

10月16日(日)、「第20回まつり岡垣」が開催されました。当日は、「第19回ふくおか県民文化祭オープニングイベント」も共催され、町内外から多くの人々が訪れ、おおいに盛り上がりました。



会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議事本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサントリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

高倉神社大祭「おくんち」

10月8日(土)から10日(祝)の間、高倉神社「おくんち」が行われ、海や山の幸の豊饒を感謝し、祝福しました。期間中は神楽をはじめ、相撲・弓道・剣道大会など様々な催しがあり、訪れた人は伝統のまつりをそれぞれ堪能していました。



どうぞ
傍聴席へ

次の定例会は
12月7日(水)
開会の予定

編集後記

西 美千代

佐世保で一人暮らしをしている母が4月に脳梗塞で倒れ、今はリハビリ中である。今後自宅で暮らすには無理があり、故郷を離れたくないと言う母の願いを叶えるには、施設を選択するしかない。

9月25日号の広報おかがきに岡垣町の行政区別高齢化率一覧が掲載されていた。岡垣町全体では26%だが、40%以上という地区もある。

先日、グラウンドゴルフ大会、高齢者スポーツ大会と、元気な高齢者の方たちと楽しむ機会があった。生きがいを持って日々生活することが、元気で長生きの秘訣だと感じた。

これから私も元気のもとを見つけていきたい。

発行責任者

議長 曾宮 良壽

議会広報特別委員会

- 委員長 廣 渡 輝 男
- 副委員長 西 美千代
- 委員 横 山 貴子
- 委員 西 田 陽子
- 委員 中 村 好伸
- 委員 神 崎 宣昭